

大地に根を張る ぬげに杭

取扱説明書

はじめに

このたびは「ぬげに杭」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は製品の正しい取り扱い方法について説明しています。初めてお使いいただく方はもちろん、既にご使用経験がある方にも再認識の上でお役に立つものと考えております。

この取扱説明書を繰り返しお読みいただき、良くご理解いただいた上で安全で効率の良い作業をお願いします。

本製品のさらなる品質向上のため、取扱説明書の中にお買い上げの製品と詳細において、異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容に関するご質問は、当社までお問い合わせください。

本書に記載した注意事項、△の表示がある警告ラベルは、怪我や製品故障の原因となる重要な事項です。よく読んで必ず守ってください。

注意事項 安全に作業するために

「ぬげに杭」を安全にご使用いただくためには、正しい操作が必要です。

取扱説明書に示されている内容を良くお読みになってからご使用ください。

本製品をお使いになる前に

- 本製品は地中に差し込んで設置する杭です。不慮の事故を防ぐため、本来の使用目的以外には使わないでください。
- 作業前に、手袋等の保護具を着用してください。
- 地中に差し込む前にピンがスムーズに開閉するかを確認してください。*ただし、各所が破損する場合がありますので無理に開閉することは避けてください。
- 差し込む前は、ピンが格納されていることを確認してください。ピンが出た状態で差し込むと破損する場合があります。
- 以下のような場所ではご使用できません。
 - ・地中に転石・コンクリート・固い礫(れき)・その他固い異物が埋まっているところ
 - ・地面がコンクリート・石材・アスファルト等で覆われているところ
 - ・N値が3以下の軟弱地盤(本来の耐力が得られない場合があります)

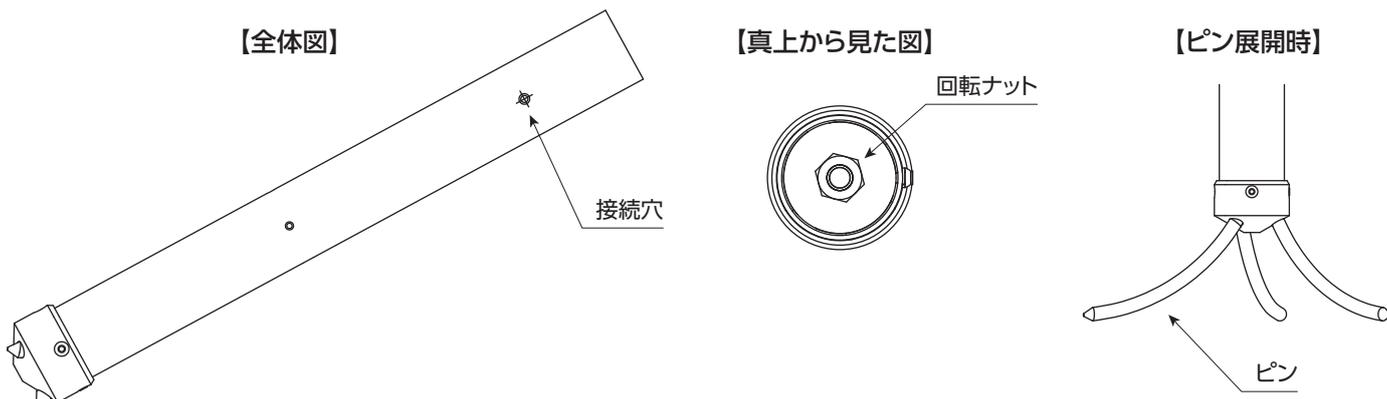
本製品を設置する際に

- ピンの開閉時には、17mmレンチのご使用(人力にて回転)をおすすめします。インパクトやドライバー(高速回転)など、ご使用をお控えください。
- 本製品の本体を60cm以上深く設置しないでください。設置深さ(下穴深さ)の目安は57cm程度とし、地中から杭の上部が12cm程度出ているようにしてください。
- 本製品を設置する過程で杭本体を無理矢理揺すったり抜いたりしないでください。先端部分が破損する場合があります。

その他

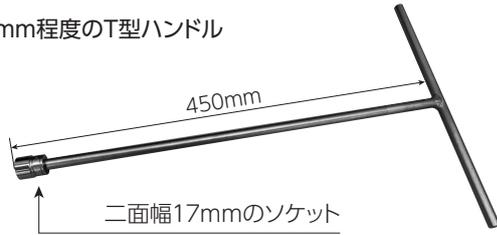
- 本製品を引き抜く場合、必ずピンを格納した後で引き抜き作業を行ってください。

ぬげに杭 各部名称



めけに杭 設置に必要な工具(別途ご用意ください)

■全長450mm程度のT型ハンドル



■直径48mm程度の穴が掘れる穴掘り工具



設置方法



注意

設置深さ(下穴深さ)の目安は57cm程度です。

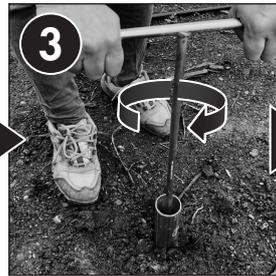
杭上部に連結部材を用いられるように、杭本体を12cm程度地上から出しておいてください。



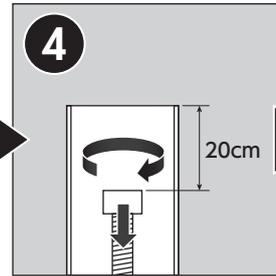
市販の穴掘り工具で穴を開ける



「めけに杭」を差し込み、しっかり底まで押し込む



市販のレンチで内部の回転ナットを時計回り方向に回す



回すにつれて回転ナットが下降していくので、その深さがパイプの端部より20cm程度になるまで回す

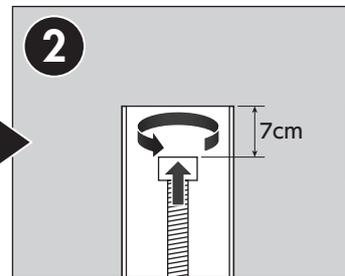


設置完了!

収納方法



市販のレンチで内部の回転ナットを反時計回り方向に回す



回すにつれて回転ナットが上昇してくるので、その位置が接続穴付近に来るまで回す(パイプ端部より7cm程度)



接続穴にロープ等を通して持ち易くし、前後左右に揺すりながら穴を広げて上方向に引き上げる

取り扱い上の注意事項

- 穴掘り工具で下穴が掘れないような固い地盤には使えません。
- 穴掘り工具で掘った下穴に確実に底付きするように、足で踏みつけるか、木槌で軽く叩くなどして、しっかり底まで押し込んでください。土中で宙に浮いたような状態でピンを出し固定すると、荷重がかかった際にピンが破損する場合があります。
- 下穴を開けずに、直接ハンマーなどで打ち込まないでください
- 地中に石や根など障害物があるとピンが出せません。無理にピンを出そうとすると破損する場合があります。
- 抜け強度は、土質や埋込深さにより大きく変化します。指定深さを超えない範囲でできるだけ深く埋め込んでください。
- パイプの内部に砂や土を入れないでください。破損の原因になります。

製造元



販売元



合同会社 **Fielder's**

<http://fielders.co.jp>

TEL : 0265-98-6421